

KOREA Report

November 2015

CONTENTS

- * Project 1: UNIQUE
- * Project 2: HANKOOKILBO

1. UNIQUE

Project Overview

HOTEL UNIQUE はパターンの繰り返しと反射する素材を適切に使用して空間的な制約を克服し、小さなスペースをインパクトあるように見える。

ロビーの待合スペースは地下駐車場に行く空間の上部に位置していて機能的に変形されたこの空間の階高を高めにし、スペース in スペースように段差を上げて新しい感じの空間を作った。

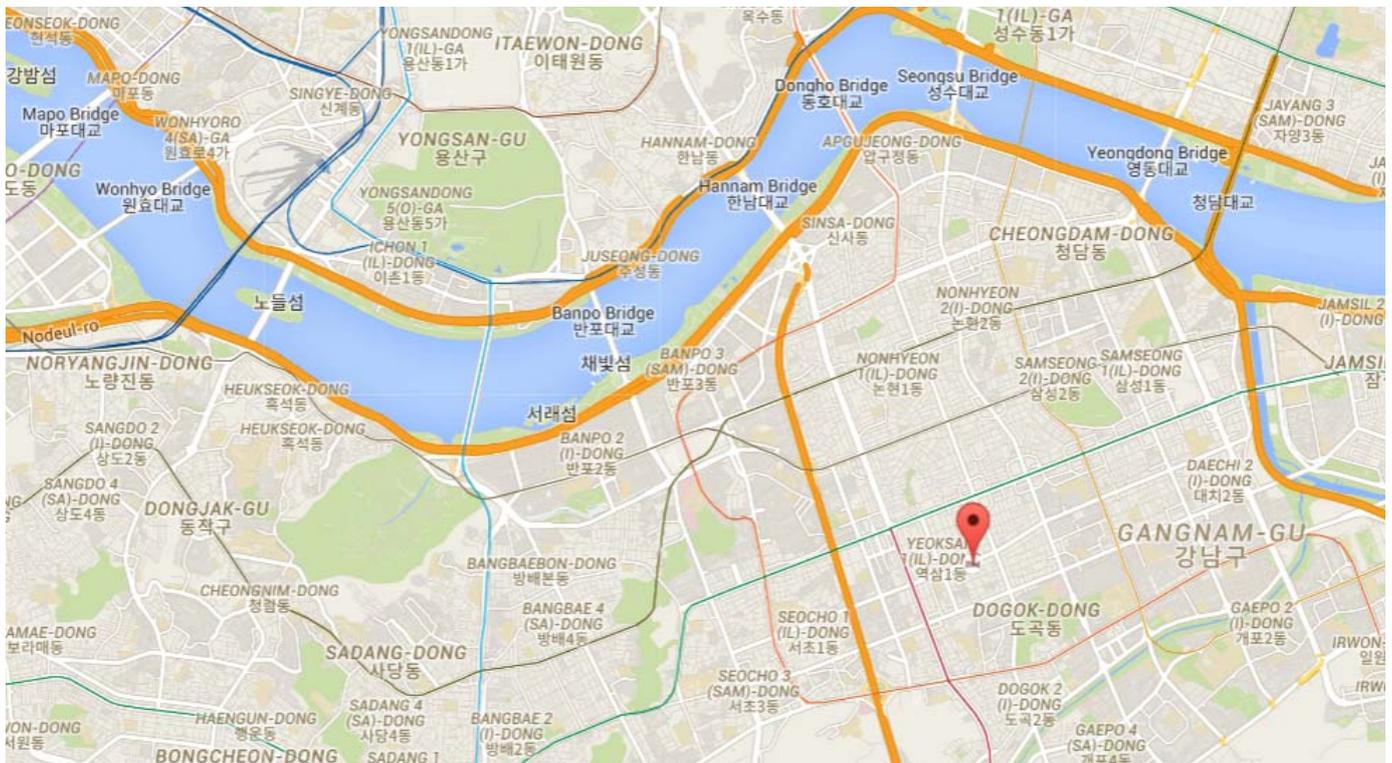
廊下を通じてつながっているダイニングはロビーの都会的なユニークさが快適な景観とコントラストを合わせながら空間のバランスをとっている。

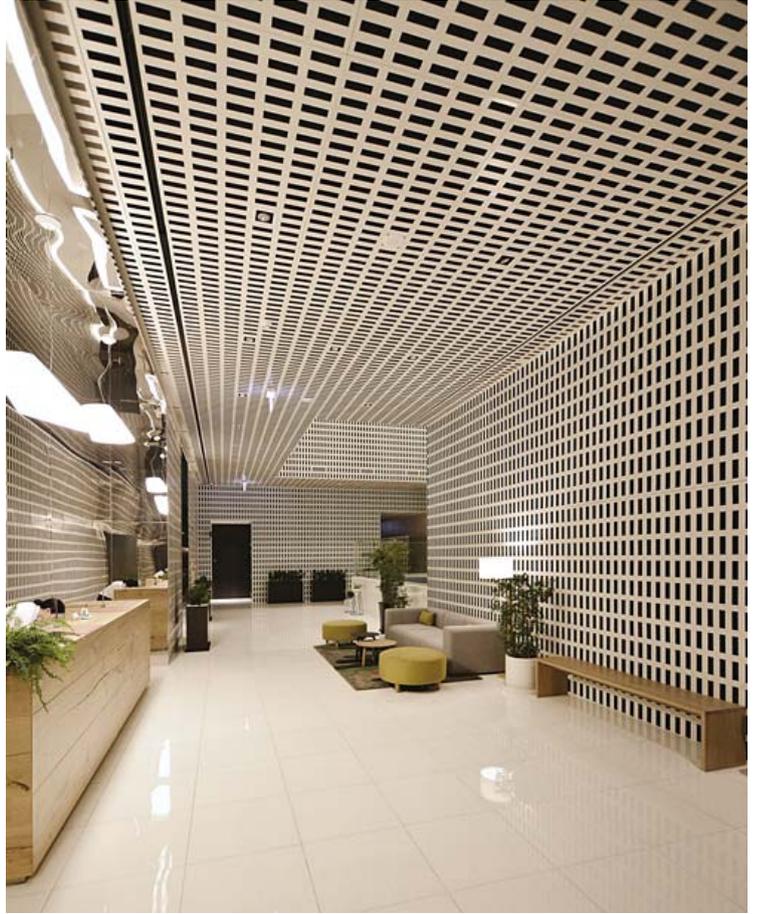
中小ホテルの場合、客室数が少ないから F&B やクラブのような独自のブランドの認知度を高め、宿泊や飲食の営業がスムーズに行われるようにする戦略的なマーケティングが必要である。このためホテルのダイニングを活性化させる目的でホテルとは分けて都心の中で快適に一日中、ダイニングを楽しむダイニングスペースとして計画されていた。象徴的な公共空間であるホテルのロビーは特別な旅の始まりを意味し、都会的でユニークなパターンの空間構造で、客室はホテルの基本モジュールから離れ、空間構造に焦点を置いて機能的な側面を強調し、休憩の価値付与に集中しているように感じた。

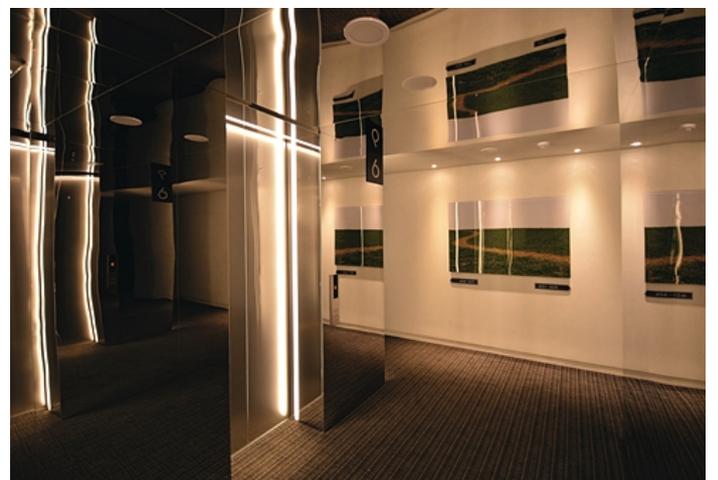
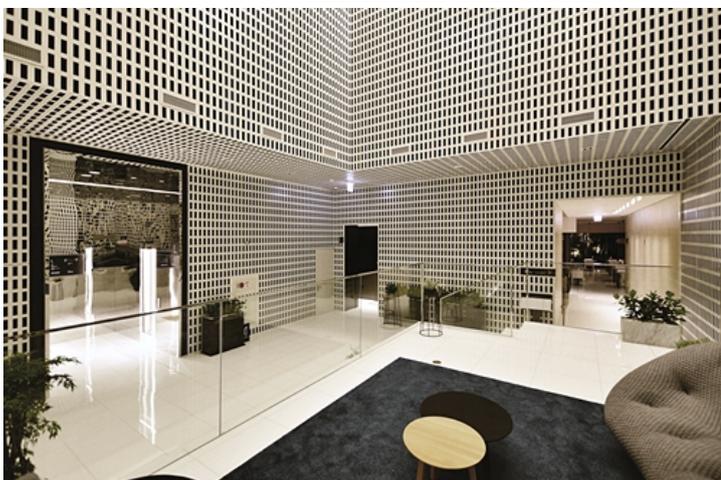
Project Details

1. Brand: UNIQUE
2. Type of Business: Hotel
3. Open Date: 8/2015
4. Size: total floor area 4,633 m²
5. Location: 160, Yeoksam-ro, Gangnam-gu, Seoul, Korea

Location Map









2. HANKOOKILBO

Project Overview

新しく改装された韓国日報のワークスペースは始まりと終わりが明確ではなく、領域を自由に行き来できる非線形的な導線になっている。停滞しないで継続流れるので一見するとまるで仮想の空間のように実体がないように感じられたりした。しかし平面を歩きながら広い観点で見ているとスペースは徐々に鮮明になってくる。

オフィススペースはオープンプランで設計され、領域を分ける壁のあちこちがガラスで仕上げられて空間全体が一つになっている感じが強かった。ガラスの壁が床と出会う部分がフレームなしで、平らに仕上げたところと事務スペースのパーティションに適用された半透明の亚克力は空間の流れををより一層強調している。床のパターンの変化は意図的に壁が区分する領域から一歩後ろにさがるようにデザインされて空間の流れがより優しく感じられる。

光と影がつくり出す様々な表情はこれらの空間をより豊かにする。光と影が柔らかくつながってその自然な環境の中で人々は快適さを感じられると思う。

Project Details

1. Brand: HANKOOKILBO
2. Type of Business: Office
3. Open Date: 5/2015
4. Size: 1,038m²
5. Location: 16~18F, 17, Sejong-daero, Jung-gu, Seoul, Korea

Location Map

